

第2回 今治市総合都市交通体系調査 検討委員会

検討委員会概要

1. 開催日 平成20年11月18日(火) 午後2時30分～午後4時30分
2. 開催場所 本庁第2別館11階 特別会議室1・2号
3. 出席者
委員長(敬称略)
柏谷 増男
委員(敬称略・順不同)
倉内 慎也、谷川 めぐみ、矢野 學、赤尾 宣宏、新居田 久佳、平野 文雄、門田 正孝、
竹内 靖正、植松 真二(代理)、宮脇 直志、藤崎 茂、谷口 健一郎、長野 和幸、青野 信悟
事務局(敬称略)
井出 直、高橋 潤三郎、大澤 篤司、田鍋 文浩、武下 正芳

4. 会次第

1. 開会
2. 開会挨拶
3. 委員紹介(配布資料の説明)
4. 委員長挨拶
5. 議事
(1) 平成19年度実態調査結果の概要について
(2) 本年度の調査実施方針について
(3) 都市圏構造分析について
(4) 交通現況分析について
6. 閉会

議事録

1. 開会

都市政策課長	お待たせいたしました。定刻が参りましたので、只今から『第2回 今治市総合都市交通体系調査 検討委員会』を開催させていただきます。座ったままで失礼いたします。 委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。 まず、開会にあたりまして、都市整備部長よりご挨拶を申し上げます。
--------	---

2. 開会挨拶

都市整備部長	本日は皆様、大変お忙しい所ご出席を頂きまして、ありがとうございます。 第2回の今治市総合都市交通体系調査検討委員会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。 まず、新しい委員さんがいらっしゃいますので、私の方からこの調査を実施することとなった背景につきまして、簡単にご説明をさせていただきます。 今治市の街路網は、戦前の昭和7年に41路線が都市計画決定され、その後、戦災により一度廃止されましたが、戦災復興により、昭和21年に33路線が新たに都市計画決定されております。その後、市町村合併や自動車交通の増大などに対応した変更、また、鉄道高架や高速交通体系、あるいは今治新都市開発などに対応した変更を繰り返し、現在の74路線、延長約120kmの都市計画道路が決定されております。 これらの都市計画道路の整備により、交通渋滞の緩和や都市活力の増進が図られたこと
--------	---

	<p>は言うまでもありませんが、長期未着手の都市計画道路によりまして、土地の利活用において、永年にわたって都市計画制限を受け続けている市民の方々がおられることも事実でございます。今後、ますます加速すると思われる人口減少や超高齢社会、また厳しい財政状況による公共投資余力の減退などを背景に、長期未着手の都市計画道路を見直すことが、喫緊の課題となっております。</p> <p>このような背景のもと、新市における陸地部を対象とし、道路網計画の指針となる「総合都市交通体系調査」を昨年度から3カ年に渡って実施をしており、昨年8月には第1回目の検討委員会を開催し、その後、交通実態調査等を実施しております。</p> <p>本日は、昨年度に行った実態調査等の結果を報告させていただくとともに、本年度の調査実施方針、都市圏構造分析および交通現況分析等について、ご審議をいただく予定となっております。</p> <p>当委員会におきまして、交通政策全般にわたり、委員の皆様の幅広いご意見を頂戴したいと考えておりますので、委員の皆様には、大変お忙しいところ恐縮ではございますが、ご協力いただけますようお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。</p> <p>なお、最後になりましたが、この調査費には道路特定財源等を充当しておりますため、本年4月の暫定税率の期限切れ等により、国からの補助金交付決定に時間がかかっておりました。そのため、第2回目の検討委員会の開催が予定よりも遅れたことを、この場をお借りいたしましてお詫び申し上げます。本日は宜しく願いいたします。</p>
--	---

3. 委員紹介（配布資料の説明）

<p>都市政策課長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、本日はまず、異動等により新しく委員となられました3名の方をご紹介させていただきます。</p> <p>お手元に配布しております委員名簿の順にご紹介をさせていただきます。</p> <p>（委員紹介）</p> <p>以上により、当委員会の開催に必要な定員でございます過半数を満たしておりますので、この旨ご報告させていただきます。</p> <p>では、議事に入ります前に配布資料の確認をさせていただきます。まず、事前にお配りしております「会次第」「委員名簿」「第2回 今治市総合都市交通体系調査検討委員会 資料」、そして、本日お配りしました「配席表」、「メモ紙」、「パワーポイント配布資料」、以上でございます。揃っておりますでしょうか。</p> <p>資料が足りないという方はお配りしますので、よろしく願います。</p> <p>それでは、委員長から一言ご挨拶を頂きたいと思っております。</p>
---------------	---

4. 委員長挨拶

<p>委員長</p>	<p>皆さん、大変お忙しい中を第2回今治市総合都市交通体系調査検討委員会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>先ほどの都市整備部長さんのご挨拶にもありましたように、第1回は今年の8月に開いております。この時点では、調査を進めていない段階でございましたが、一度皆様方から今治市の交通の現況につきましていろいろご意見を承ったということでございます。</p> <p>その意見を反映させていただきまして、今年の10月末にこの委員会のための特別な家庭訪問調査などを実施しております。なお、今治市の場合には、この家庭訪問調査と共にですね、平成17年に国土交通省の方で行いました全国の道路交通センサスとタイアップすることが出来ておりますので、そのデータとの整合性を取るような形で分析を進めております。</p> <p>今日は、その実態調査及び国土交通省の調査を踏まえた上で、今治市の都市圏の分析あるいは交通現況分析等が事務局の方から報告されると思っております。この点につきまして、皆様方から忌憚のないご意見を頂きまして、そういう皆様のご指摘を頂いた課題につきまして、今後具体的に課題の分析及びその解決のための処方箋というようなことを考えていきたいと思っております。</p> <p>日ごろから、皆さんがお感じになっている交通の問題、あるいはこれからの少子高齢化、あるいは産業構造の変化などさまざまな課題に対して、どういう風に対応を考えておくべきなのかということ等のご意見を積極的にいただければありがたいと思っておりますので、宜しく願い申し上げます。</p>
------------	---

	<p>それでは、あとは座って進めさせていただきます。</p>
都市政策課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これより議事進行は委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。</p>

5. 議事

委員長	<p>それでは、議事を進めさせていただきます。まず、その前に議事録の公開についてお諮りいたします。当委員会の議事録につきましては、今治市のホームページで公表していく予定であります。委員の皆様自由に発言していただくためには発言者の氏名については公表しないということとしたいのですが、皆様いかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議なしということでございますので、発言内容は公表いたしますが、どなたが発言されたかということは伏せさせていただくことにさせていただきます。</p> <p>それでは、議題の「1. 平成 19 年度実態調査結果の概要について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(資料説明)
委員長	<p>ありがとうございました。それでは、ただいまの説明につきまして何かご質問、ご意見はございませんでしょうか。</p>
A委員	<p>家庭訪問調査ですね、自動車保有台数に対する抽出率が 8.8%となっており、目標抽出率 8.2%を上回ったから、この調査の目標をひとつ達成しているという感じなんですけれども、この 8.2%ということに対してどういう意味があるのか、ちょっと教えてもらいたいんですが。</p>
事務局	<p>はい。8.2%なんです。統計上 8.2%満足されれば、いわゆる今治市の OD 調査の精度が確約されるということを試算しまして、8.2%という数値を目標値として出しています。それを超えた量が取れましたので、概ねその精度が確保されているという事になっていると判断をさせていただいております。</p>
A委員	<p>はい、わかりました。それでは、8.2%を超えれば、この調査全体のいわゆる調査目標を達成するという意味なんですね。</p>
事務局	はい。
委員長	<p>その他、何かありませんか。ご質問、またはご意見などございませんでしょうか。</p> <p>では、交通に関する現況分析の所もありますので、また後の所で、ご質問などいただいてもよろしいかと思います。</p> <p>それでは、次に移らせていただきます。それでは、「2. 本年度の調査実施方針について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	(資料説明)
委員長	<p>それでは、ただいまの説明につきまして、何かご質問等はございませんか。</p>
B委員	<p>交差点実態調査についてなんですけれども、渋滞の激しかった、多かった交差点の中で、例えば道路交通センサスなどで実施されているような所ってどれ位あるんでしょうか。</p>
事務局	<p>道路交通センサスでは、交差点の方向別調査というのには行っておりませんので、現在調査結果は無い状況です。</p>
B委員	<p>ある程度リンクとかから交通量がわかる所って、ないんでしょうか。</p>
事務局	<p>断面交通量というのはあるんですが、交差点の方向別交通量というのには無い状況です。</p>
委員長	<p>よろしいでしょうか。次に移らせていただきます。</p> <p>それでは、「3. 都市圏構造分析について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	(資料説明)
委員長	<p>それでは、ただいま説明がありました都市圏構造分析について、何かご質問、あるいはご意見等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは、ちょっと私の方から都市圏構造分析について、少し難しい話題ではあるんですが、今スライドにもありました通り今後の厳しい財政事情等を考えるとですね、これまで予定していた事業が本当に行えるのかどうかという所が問題になるんですね。</p> <p>具体的な例を言いますと、下水道事業等で、この前県の再評価委員会で各市の下水道事</p>

	<p>業の目標をみてきた訳ですが、下水道事業というのは大体今から 50 年位先まで事業をすることにしております、それで事業を進めていく予定にしている訳ですが、それだけやれるだけのお金は本当にあるのかなというのが正直なところ心配なんです。今まで計画していてプログラムを作っておるわけですが、実際はたぶんなかなか難しいでしょうというのは、言いにくいとは思いますが、言いにくいとは思いますが、長期で今計画されている事業についてもですね、熟度の高いものといえますか、早急にこの 10 年なり 20 年なりの間で整備しなければならないものと、やや中・長期的な取り組みをしていきたいと思いますというものはちょっと分けて考えておいて、将来の交通計画を立てる時の、将来の都市構造のあり方等に当面はやらなきゃいけないものと、中長期にですね、検討しなきゃいけない事を事務局の方でより分けてもらってですね、表現の仕方はなかなか難しいと思うんですけども、そういう所で目標年次の状況というものが、言う悪いですが絵に描いた餅にならないように、ちょっと配慮していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。都市計画道路の見直しを行う上でも、事業の必要性の高い所につきまちは、優先順位が高いという形で実現をさせていただきたい。それで、そういう所以外で必要性がない所といえますか、交通量が極めて少ない所は廃止もしていく予定なんですけれども、必要性が高くても、なかなかまだ出来ない所につきまちは、長期的な位置付けをさせていただいた上で、必要路線という位置付けにしたいと思っております。今後 42 年の将来推計を出した上で、検討していきたいと思っております。</p>
委員長	<p>他に質問はございませんか。</p>
C 委員	<p>パワーポイント資料の 34 ページの所ですね、「拡大化する市街地への適正な誘導が必要」という言葉があるんですけども、現在今治市はまだまだ拡大基調にあるのか、ある程度市街化拡大が止まりつつあるのかという所ですね、ある市なんかでは、逆に都心回帰の傾向が若干出てきている都市もあるわけなんですけれども、今治市さんの場合は、そういった都心部へのマンション立地ですとか、水面下で動いている計画というのはあるのかどうか、そのあたりちょっと教えていただけますか。</p>
事務局	<p>今治市の場合、市街化拡大傾向があるのかないのかというご質問ですが、基本的には将来的にコンパクトシティといえますか、都心部に回帰という位置づけを都市マスでもさせていただいているんですけども、今現在、市街化調整区域において 50 戸連担制度といえますか、そういう形をとらせていただいて、開発ができるような方向性というかそういうものもあります。そういう意味では、中心部にお住まいの方が郊外部に家を建てるというのが現状としては多い状況です。</p> <p>また、今現在都心部にマンション等そういうものの立地の可能性があるのかどうかというご質問ですが、今のところ、都心部にマンション計画というのは無いような状況です。ただ、今後そういうものも推進していく方向性といえますか、位置づけも出しておりますので、これから増えていくことを望んでおります。以上でございます。</p>
委員長	<p>ちょっと私の方からも補足をさせていただきたいんですが、今治市は地区計画の策定が非常に進んでおられてですね、県内では一番地区計画が多い所です。地区計画の場合、ご存知の通り道路整備をちゃんとやっていくという事を地元の方が約束しておりますので、これは今後の交通計画を考える時にも、地区計画を地元が一生懸命やろうというのをサポートするような事を考えていかなきゃいけないんだと。実態と共にですね、都市計画に対するサポートというような側面からも、将来都市構造というのは考える必要があるのかなと思っております。</p> <p>ちなみに、このあたりでいくと、東予の都市計画区域は市街化調整区域を外した訳ですが、その結果現れているのは、そんなに人口等が増えてくる、開発が盛んになっているという訳ではないんですが、無秩序の開発がどんどん進められていると。そういう事に対して、今治市の場合は、わりと積極的に地区計画を整備して市街化区域を広げてきた経緯がありますので、そういうことについては、地区計画をやってこられた所の地域住民の皆さんに対して、ある程度サポートする計画を考えていくのが必要かなと、これは私の正直な意見ですが。</p> <p>失礼いたしました。他にご質問は。</p>
D 委員	<p>これを頂いた時に、すごくよくまとまっている内容だなと、よく調べられて分析できているなと思ったんですけども、それがゆえに、先ほど委員長もおっしゃったように非常に膨大な計画であって、何を優先させるかっていうのがやはり私もすごく大事だと思うんですけども、今治市の方で未着手の道路とかそういうものも多くあるように先ほどのご</p>

	説明でもありましたし、主要幹線をこれから作るというような話もあるかと思うんですけども、だいたい優先順位として、どのような方向でお考えがあるのか、もしありましたら聞かせてください。
事務局	まだ、優先順位の付け方というのを正直決めておりません。これから将来交通量を推計していく中で検討させていただいて、また、この委員会の方で諮らせていただいた上で、決めさせていただきたいと思っております。よろしくをお願いします。
D委員	もう一つよろしいですか。この34ページに課題っていうのが本当にまったく納得できるような課題が多く書かれてあるんですけども、この様な上っ面の内容ではなくて、どのような検討内容で進んでいくんでしょうか。この委員会の中で細かく考えていくんでしょうか。それとも、こういうような問題があるという提示をされただけなんじゃないでしょうか。
事務局	今回は提示をさせていただいただけですけれども、今後この課題を受けて、道路計画に反映したいと考えております。それはまた、3回4回5回と委員会の中でお諮りさせていただいて、反映させた道路計画を提示したいと思っておりますので、宜しく願いいたします。
D委員	ありがとうございました。
委員長	貴重なご意見ありがとうございました。事務局の方からも説明がありましたように、今おっしゃられたような事について、この場で皆さん方から意見を出していただきたい。今治市のいろいろな課題を解決し、さらに市民生活を豊かにするため、あるいは地域経済の発展を促進するためには、交通とか道路の面からもっとこういう事をやるべきだ、こういう事に取り組むべきだろうというご意見を皆さん方の方から積極的に出していただきたいと思えます。 そして、今日は現在の状態、現在わかる事について、そういうご意見を皆さんから頂きたいと思えます。それで、将来どうなるのかという事は次回、もう一回次ですかね、4回目の時になるかと思えますが、これは今治市が将来どういう街になっていくのか、ある程度想定していかないと将来の需要予測はできません。それから国の方で現在、将来交通需要予測の見直しということをやっておりますので、そういうものと合わせた上で、大体こういう風な線で考えていきたいと、たぶん4回目ぐらいですかね、出てきますのでその時には、将来の課題ということについてですね、皆さんからご意見を頂きたいと、そういうことで都市構造、あと出てきます交通現況についてのですね、課題を皆さん方から今考えられている時点での課題、ご意見等を頂ければと思っております。 その他ありませんか。
E委員	細かい事になるかもしれませんが、この35ページ一番下の「持続可能な街づくりが不可欠」の所に、社会資本施設が更新期を向かえるということで、やり替えだとか補修という話を書かれていると思うんですが、災害特に地震ですよ、これは自然条件等で、ここは社会的な条件について書かれてるのが多いんですが、そういう事も何か加味して当然課題となるんじゃないかなと、ちょっと思ったものですから。
事務局	ありがとうございます。確かに、災害等を踏まえた街づくりが必要となってきますので、その辺も今回付け加えさせていただいてですね、課題として対応した道路づくりをさせていただきたいと思っております。ありがとうございました。
委員長	その他、何かございませんでしょうか。 では、ございませんでしょう、次の「4. 交通現況分析について」事務局から説明をお願いいたします。
事務局	(資料説明)
委員長	ありがとうございました。それでは、ただいまの事務局の説明につきまして、何かご質問、ご意見どんなことでも結構ですので、出していただければありがたいと思っております。
A委員	質問ですけれども、54ページの「混雑解消に向けた道路網の形成が不可欠」の所ですが、ここで「高い道路整備状況である既存ストックを活用した効率的効果的な道路整備の展開」とありますけれども、具体的にはどういう展開をされようとしているのかお聞きしたいのと、それと公共交通の中で、この「バス事業者の採算性も十分配慮しながら」というのがあるんですけども、言うなればバス事業者は民間ですけれども、これは市として何か補助金とかそういうのを現在やっておられるんでしょうか。この2点をちょっとお聞きしたいと思えます。
事務局	まず一点目、混雑解消に向けた道路網の形成について、既存ストックを活用した何か新しい道路整備の展開を考えられているのかという点なんですけれども、既に整備されている道路等が中心部の方においては多々あるんですけども、ここの道路についてですね、将来交通量を配分した結果、あまり量がないという結果が出ましたら、その道路は道路と

	<p>して既にありますから、道路の幅の再構築みたいなことを考えさせていただいて、例えば、車道の部分を減らさせていただいて歩道とする部分を増やすとかですね、そういう風な展開を考えております。</p> <p>もう一点は、バス事業者の方にですね、補助金等を出しているのかということなんですけれども、市として事業者の方に一応補助金の方は出しております。ちょっと金額の方は申し訳ないんですけれども、担当ではないので分からない状況です。</p> <p>以上でございます。</p>
E委員	<p>今後の議論になってくるかと思うんですけれども、54 ページの一番下の所ですね、地球温暖化という所があるんですが、これは総論的にこういうことは分かるんですが、実際道路、具体的にはスムーズな走行によって CO₂ の排出量が削減されるという意味のことであろうかと思うんですけれど、先ほどもあったように、20km/h を現在確保しているということになると、更に 25km/h、30km/h にするのはもちろん軽減につながると思うんですが、一方で議論になった事業費確保はなかなか難しい中で、その辺をどこまでとかいう話が出てくるのかなという感じがしています。課題としているのは間違いないと思うんですが、その辺をどこまでやることを今治市の意見としているのかなと、ちょっと思いましたので。</p>
事務局	<p>その部分の 20km/h 確保というのはですね、今のお出ししているデータは国県道の分しか無いものですから市道の分が入っておりません。市道の分については、ひよっとすれば確保できていない、まだ混雑している所が出てくるかもしれません。そういう意味ではそれも踏まえて検討していきたいと思っております。</p> <p>非常にご質問の内容が難しいものですから、今後こちらで準備の上検討させていただき、どういう風に反映したら今後の道路計画に上手く反映できるのかというのを、今後考えていきたいと思っております。よろしくお願いたします。</p>
E委員	<p>もう一点、山間部の道路は 1 車線が確かに残っておって、この交通体系の中でそういう路線網も含めているいろいろ検討をされるんだろうと思うんですが、それは将来的に 2 車線を想定しているという事ではないだろうと、今の現況からいくとですね。それは 1 車線で非常に狭い所はあるけれども、それにちょっと毛が生えた位の待避所ぐらいの整備でいい区間も出てくると思います。</p> <p>一連の道路で全て 2 車線になりますという議論ではないだろうと思うので、その辺の整理をお願いしたいなと思います。</p>
事務局	<p>場所によっては、高知なんかでよく言われている 1.5 車線整備とかそういう話もありますから、そういう意味合いでの交通容量といいますが、それに見合った容量にしてですね、対応をしていきたいと思っております。</p> <p>また、実際に将来、この道路にどの位の交通容量をお考えかというのは、県道であれば地方局さんの方にですね、ご協議させていただいた上で、交通容量を決めさせていただきたいなと思っておりますので、その折は宜しくお願いたします。</p>
D委員	<p>ものすごくささやかな事なんですけれども、通学に自転車を使われている、特に高校生ですかね、長距離で行かれる方がものすごく多くて、自転車の事故っていうのはたぶんそういう方が随分といらっやると思います。ですから、ものすごく調べにくい事かもしれないんですけれども、通学に自転車を使っている学生さんに対して、ちょっとどのような道をどのような感じで走っているのか学校にでもアンケートを取っていただいて、歩道を走っているとか車道を走っているとか見境なしに走っているとかなんか、そういうのもちょっと参考になるような気がします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。確かに、高校生については自転車通学が非常に多いんですけれども、交通マナーがよろしくないと言いますか、2 列 3 列走行で歩道でも車道でもどこでも走っていると。そういう形で事故が多いんじゃないかと思えます。</p> <p>今後ですね、来年度になるんですけれども、そういった形で入札の差金等が出た時に、また検討させていただいて、もし出来るのであればそのような方向性で、そういう風なアンケートを取らせていただいた上で、この調査に加味したいと思っております。ちょっとまだ出来るか出来ないか、予算的な問題もありますから非常に難しいとは思いますが。そういう形で申し訳ないですけど、お願いたします。</p>
委員長	<p>今の意見に関連して、アンケートという形式にこだわってしまうと、ある程度のサンプルを集めなければならない、お金もかかる格好になるんですが、お尋ねになっている趣旨のことは、ヒアリングを各高校にかけてですね、そういった実態をよくご存知と思われる先生なり誰かに聞いてみたらある程度の事は分かると思うので、そのアンケートが取れな</p>

	いようでしたら、ヒアリングをかけてそういう情報を集めてもらったらありがたいかなと思います。
事務局	わかりました。そのようにさせていただきます。
委員長	他に何かございませんか。
F委員	先ほど、事務局の方から高知県の1.5車線整備というお話が出ましたが、11月6日の朝日新聞で、小規模道路を自由に使える特例という記事があります。国交省の方がいらっしゃるので、よくご存知かと思うんですけど、その記事の中で地域に応じた道路整備という理由で、高知県が1.5車線道路を作ったという実例がありますが、一番気になったのは、国交省さんの方でとったアンケートによると愛媛県とか香川県、県単位では自治体が存在を知っているという風に答えているんですが、市町村単位では8割が知らないというアンケート結果が出ていると書いてありました。
事務局	それは1.5車線制度ということですか。
F委員	特例制度自体をです。 今治市は財政難の折に、そういう制度を市職員の方が良く知っていて、それを活用しようという動きが今治市の中にあるのかどうかというのを、皆さんが道路を作ることに関わっているのでもちょっとお聞きしたいと思ひまして、質問させていただきました。 その存在を知らない、ほとんど知らない、詳細を知らないという市町村が8割ということは、今治市さんはその知らない8割の中に入っているのか、2割に入っているのかというのが、ちょっと気になります。建設費が8分の1、工期が3分の1という風に、ある程度メリットも多いものですから、もし知らないでしたら、今治市自体でそういう所も勉強していただきたい。
事務局	今治市はたぶん2割の方に入っていると思います。
F委員	島とか昔の越智郡のそのあたりの道路整備にも、この制度は使われるようになると思います。その市民に対しても、道を作るのにはお金がかかるというイメージが大きいので、そのあたりを良く知ってますよというアピールをするのも大事じゃないかと思ひます。
G委員	私も建設部で道路の方を担当しておりますが、今の質問に関して1.5車線ということは当然今治市としては認識しております。しかし、そういった中で補助制度とかそういった問題もありまして、現在は補助制度が無い状況です。単独であれば当然そういう風な道路整備も考えるわけですけど、市としてはそういう風な考え方は当然入れておりますので、ご理解の程お願いいたします。以上です。
委員長	今、80%が知らないと答えたという事で、全然知られていないかと言えばそうじゃなくて、町村で2車線以上の道を作るとことは普通ありえないんですね。愛媛県の場合で言うと三崎町さんだけです。市でもこう言うては怒られるんですが、2車線以上の道路を自分の所で作ったことのない市というのは県内にもいくつかあるはずなんですね。だからまともな道を作っている市町村というのが、そんなには無いわけですから、あまり知らないというのが実態だと思います。 他にご意見、ご質問等ございませんでしょうか。 特に無いようでしたら、一応この議題は終わらせてもらいます。 それで、今日の議論全体を通して、何かご意見等ございませんでしょうか。

6. 閉会

委員長	それでは、他にご意見がございませんようですので、以上をもちまして本日の会議を終了いたします。なお、後になってあれを聞いておけばよかったなどかありましたら、また事務局の方にお問い合わせをお願いしたいと思います。 では、事務局から、連絡事項等をお願いします。
都市政策課長	本日は貴重ご意見を頂き、誠にありがとうございました。 次回の開催は、来年の2月頃を予定しております。詳しい日程が決まり次第、ご案内をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。本日は、長時間どうもありがとうございました。